

住まいのデザイン

— お年寄りと生活する家 —
(2世帯住宅)

K.I
工房



外観イメージ

ナチュラル感のある色と素材の外観は、草花や木々の緑ととても良く調和している。季節の草花で建物の表情の変化も楽しめる。

単調にならないよう外壁の一部にガリバリウムでアクセントをつけている。

南側には広いウッドデッキの庭が広がる。

棟面積表

	面積[m ² (坪)]
建築面積	128.56 (38.89)
1階床面積	104.96 (31.75)
2階床面積	55.68 (16.84)
延床面積	160.64 (48.59)

設計コンセプト

親世帯の静かな生活と元気な子供のいる活発な子世帯の生活。その異なるライフスタイルを尊重した2世帯住宅。
 親世帯は高齢になっても動きやすい平屋建てにした。
 2棟をつなぐデッキを共通のスペースとしてコミュニケーションの場を設けた。
 室内は渡り廊下のみで繋がれており、騒音も気にならず、プライバシーが保たれる。
 親・子世帯が付かず離れず、のびのびと暮らす家。



共有のデッキに自然に笑顔が集まる

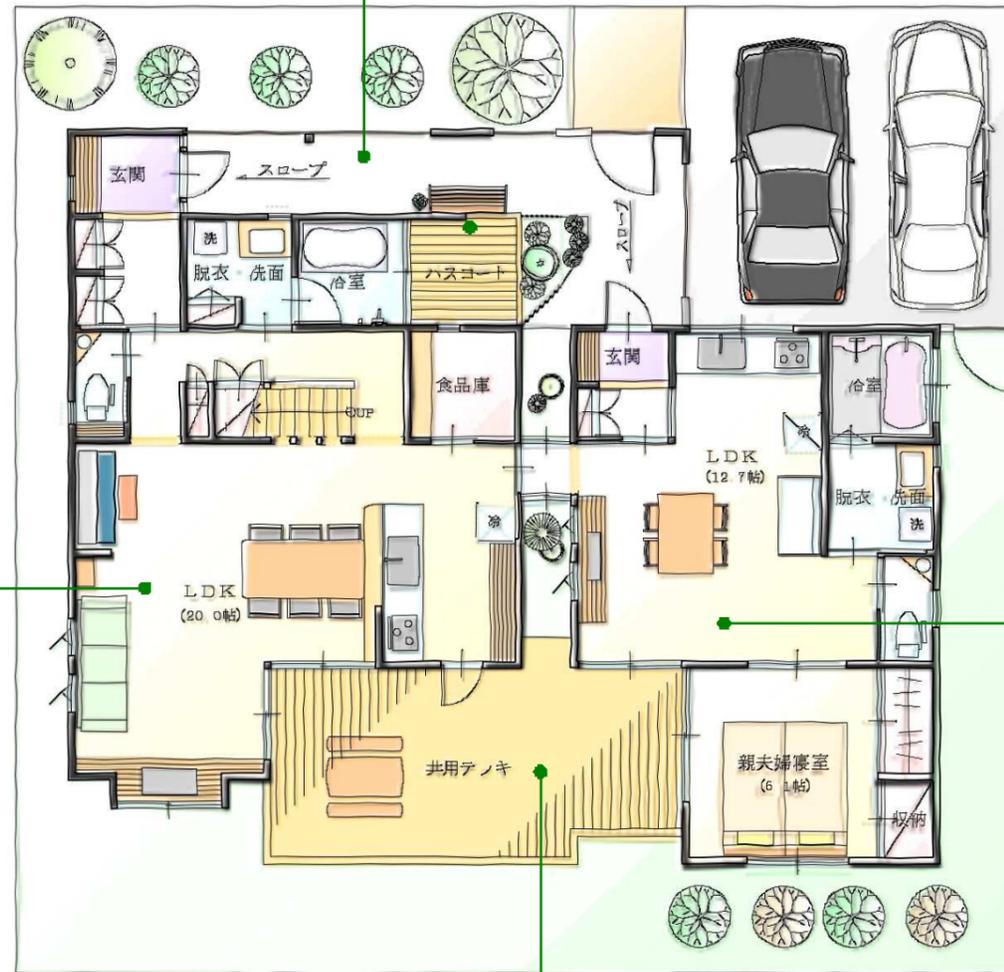


格子の目隠しと植物を植えて開放的なバスコートを設けた。

入り口は1つでも玄関は2つなので出入りが気にならない。長いアプローチにはテラコッタタイルを貼り、ベンチや鉢植えなどを置いてガーデニングが楽しめる。

おおらかな吹抜けが上下階を1つにつなぎ、どこにいても家族の気配が感じられる。

大きな吹抜けからの光でLDKはいつも明るく心地の良い空間となる。



親世帯は2階を設けずに勾配天井にして、明るくのびのびした空間とした。

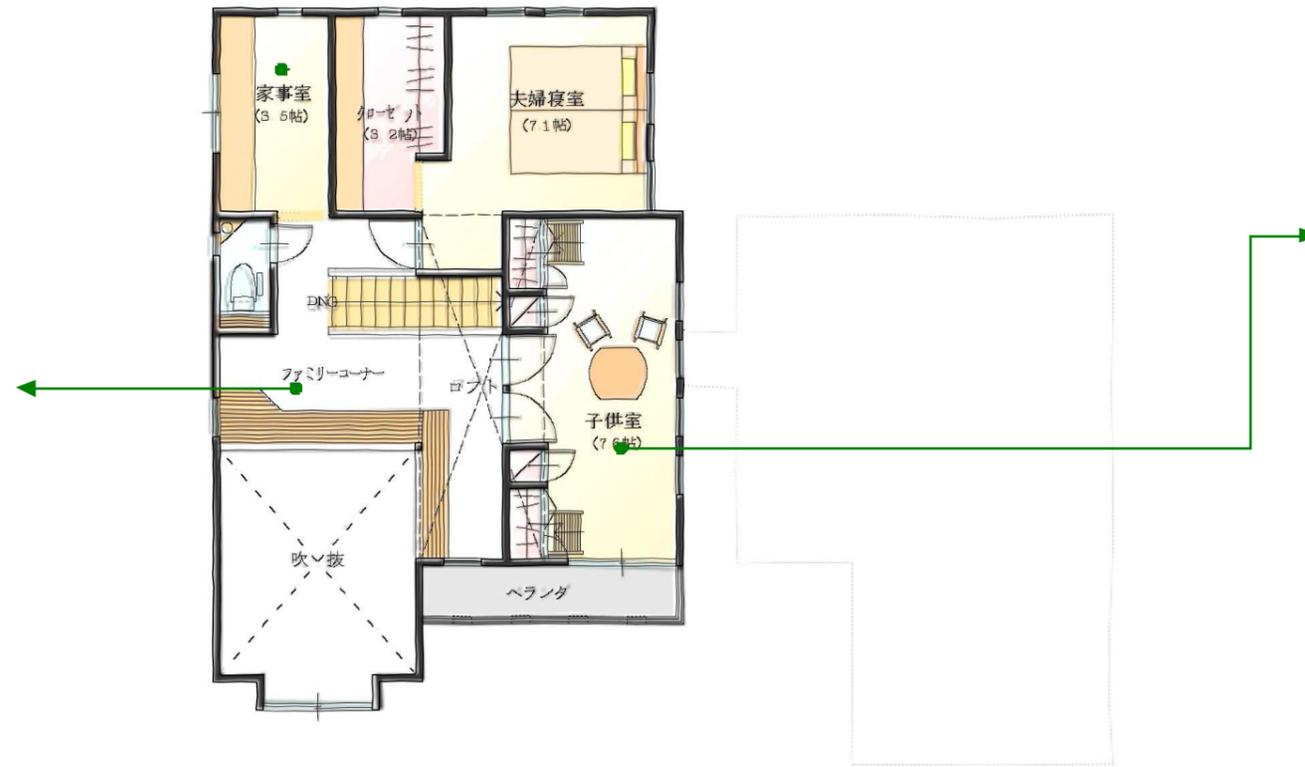
共有のデッキは親・子・孫が自然に出会う場所。デッキは親、子世帯を結ぶ通路の役割の他に、子供の遊び場、物干場、ガーデニングなど様々な顔を持っている。テーブルを置き、一緒にお茶を楽しむのも1つの方法。





→ 家計簿をつけたり、本を読んだり、お母さん専用の落ち着ける部屋を設けた。

家族パソコンをしたり、子供達のお絵描きや読書ができる多用途なスペース。開放的な吹抜けと窓からの光が気持ちの良い空間となる。



子供が大きくなったら2部屋に出来る。部屋には大きなロフトを設けた。

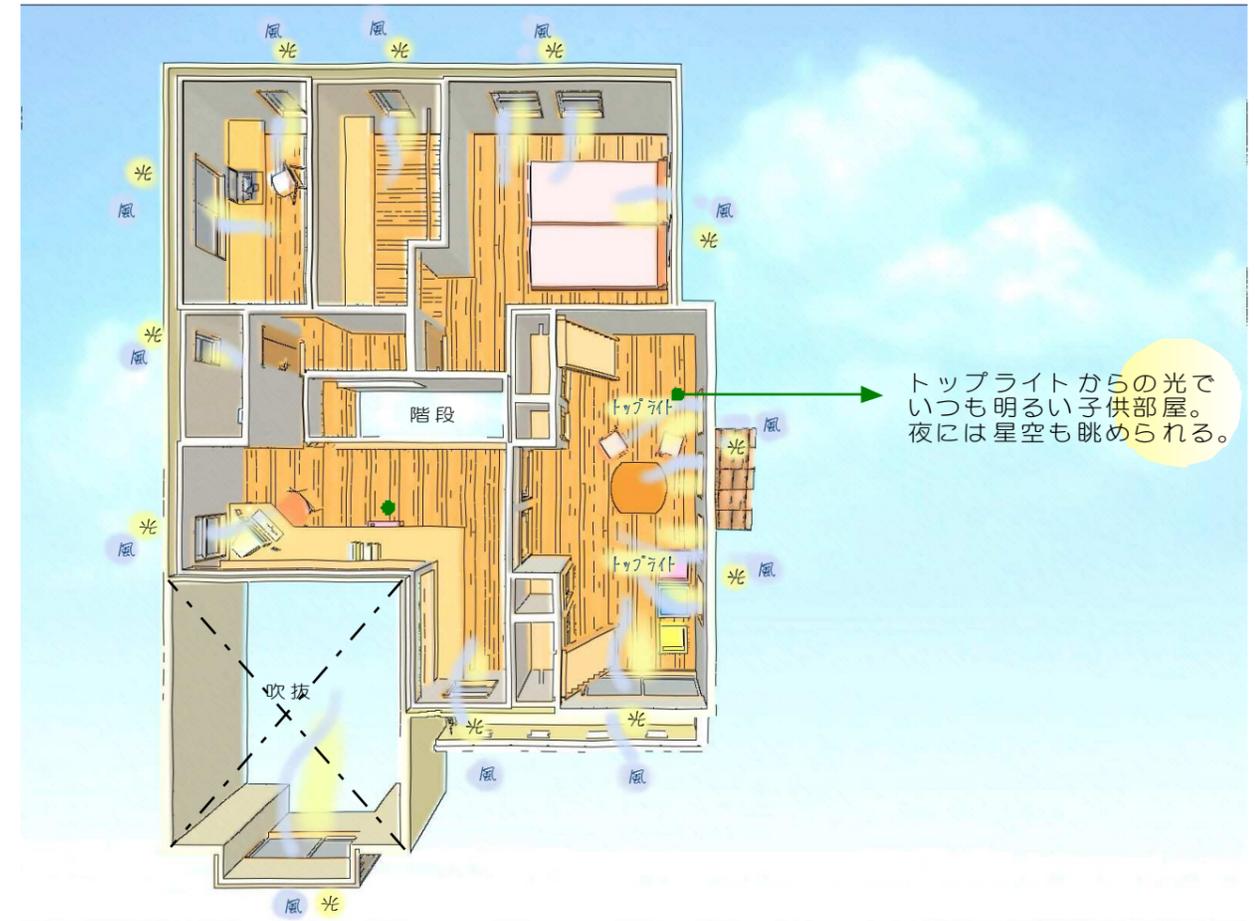
風と光



ハイサイドライトから光を取り込む。
3方向に窓があるため、風の行きかう
気持ちの良いLDK。

南側の大きな窓や勾配天井の上部の
ハイサイドライトから豊富に光取り
入れる。

沢山の光と風が行きかう
明るいLDK。



トップライトからの光で
いつも明るい子供部屋。
夜には星空も眺められる。

正面の吹抜けからの光
が明るいファミリールーム。